

17 着衣着火

【関連章第6章3】

事例2 「ガードが外れていたカーボンヒータに着衣が接触して出火した火災」

出火時分 2月 23時ごろ

用途等 住宅 防火造 2/0 延 100 m²

被害状況 建物ぼや1棟 着衣若干焼損 傷者1人

概要

この火災は、住宅の1階居室から出火したものです。

出火原因は、濡れた着衣を乾かそうと、ガードが外れていたカーボンヒータに近づけた際に、カーボンヒータの発熱体に着衣が接触して出火したものです。

火災に気付いた居住者は、着衣を脱ぎキッチンの流し台に移して水道水をかけ、初期消火を行いました。

初期消火を行った後、2階にいた娘に着衣が燃えたことを伝え、火災だと思った娘は自宅の固定電話から119番通報しました。

教訓等

この火災は、ガードが外れた状態でカーボンヒータを使用したため出火しています。

着衣着火による火災は毎年発生しており、直接着衣が燃えるため、年齢に関係なく死傷する確率が高く非常に危険です。最も件数が多い発火源はガステーブル等ですが、電気ストーブやロウソクの火に着衣が接触し、出火している事案もあります。

本件は本来取り付けられていたガードが取り外されていたため着衣に容易に接触する状態でした。可燃物が発熱体に接触しないように機器を正しく利用しましょう。



写真 17-3 カarbonヒータの状況



写真 17-4 焼損した着衣の状況